母体血中cell-free DNAを用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査

1. **はじめに**

　「母体血中cell-free DNAを用いた無侵襲的出生前遺伝学的検査」は「新型出生前診断」や「NIPT：Noninvasive prenatal genetic testing」とも呼ばれる検査です。

　母体血中に存在する胎盤由来の胎児DNA断片を調べることで、胎児が対象疾患（21トリソミー、18トリソミー、13トリソミー）の可能性が高いかどうか調べる検査です。

1. **この検査は臨床研究として行われ、研究参加の条件に当てはまる方のみ、受けて頂くことができます。条件は以下の通りです。**

・分娩予定日の時点で満35歳以上である（ただし、凍結胚移植の妊娠では採卵時の年齢が34歳2か月以上である）。

・これまでの妊娠・出産で児が対象疾患（21トリソミー、18トリソミー、13トリソミー）であった。

・エコー検査などで、現在の胎児に対象疾患の可能性を指摘された。

・ご夫婦のいずれかが、対象疾患に関わる転座保因者である。

1. **検査をご希望の患者様へ**

　こちらのNIPT医師用ページをご覧ください。

1. **ご紹介頂く先生方へ**

　こちらのNIPT患者様用ページをご覧ください。

滋賀医科大学

母子診療科

077-548-2576